

電源立地地域対策交付金により造成した基金の公表

令和 8 年 3 月末現在

基金の名称	女川町電源立地地域対策交付金事業基金
令和 6 年度基金造成額 (交付金相当額)	—
令和 6 年度末残高 (交付金相当額)	12,625,109 円 (12,625,109 円)
基金事業の概要	女川町防災広報無線デジタル化整備事業、消防団車両整備事業に充当するための基金造成。 ・ 防災広報無線デジタル化整備事業 ・ 防災行政無線復旧デジタル化整備工事 ・ 消防団車両整備事業
基金の処分期間	令和 8 年度末
基金事業の目標	総務省の技術基準値の改定に伴い、改定前に製作された無線機は、令和 4 年 12 月以降利用できなくなることから、防災広報無線デジタル化整備事業を実施するほか、老朽化した消防団車両の更新整備を目的とし、計画的な基金運用を行うことを目標とする。

基金の名称	女川町電源立地地域対策交付金事業基金
令和 6 年度基金造成額 (交付金相当額)	—
令和 6 年度末残高 (交付金相当額)	592,575,914 円 (592,575,914 円)
基金事業の概要	社会教育施設等の整備に充当するための基金造成。 ・ 勤労青少年センター整備事業（予定）
基金の処分期間	令和 8 年度末
基金事業の目標	現在、町内に設置している社会教育施設である女川町勤労青少年センターは、昭和 56 年 3 月竣工、供用開始以来、町内のコミュニティー施設として多くの町民に利用されてきたが、経年劣化が激しく、平成 30 年度において施設の診断調査を実施したところ、改修及びランニングに係るコストが将来的に高額となるため、現有施設を解体し、新たな社会教育施設等の整備を目指し、計画的な基金運用を行うことを目標とする。